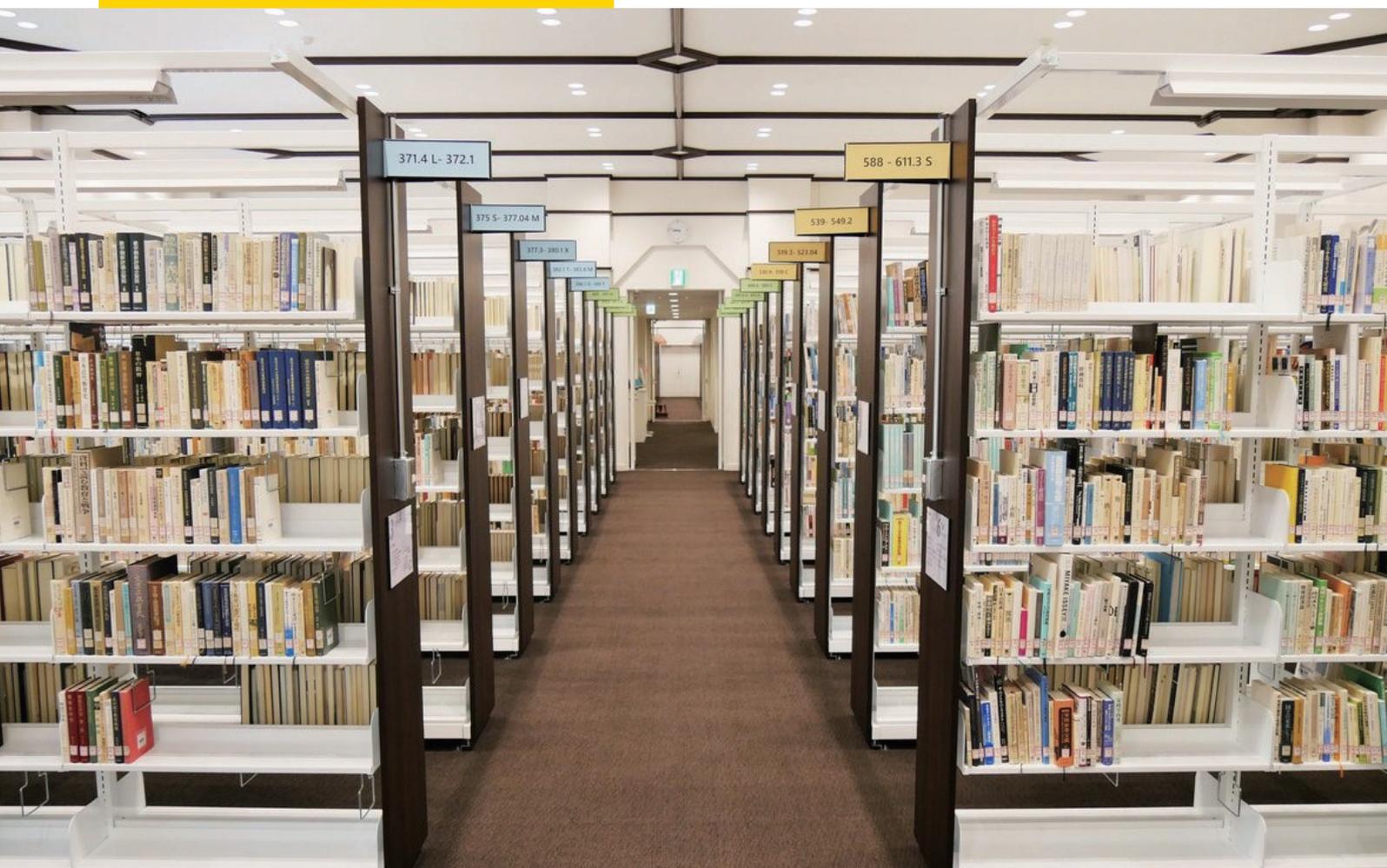


The University of Tokyo Library System Bulletin

# 図書館の窓



2026.4  
Vol.64 No.1

## ようこそ東京大学へ

「これを読めば図書館の使い方がだいたい分かる」特集号

東京大学附属図書館 利用ガイド2026

電子リソース・文献管理ツールを活用しよう

複写のすすめ～著作権を守って快適な図書館ライフを!～

学内にある 会話OK! なスペースのご紹介

初めて利用する方へ

# 東京大学附属図書館 利用ガイド2026

ようこそ  
東京大学へ!



東京大学には、本郷地区キャンパスの総合図書館、駒場地区キャンパスの駒場図書館、柏地区キャンパスの柏図書館という3つの拠点図書館があり、加えて学部・研究科や研究所等にそれぞれ設置されている27の部局図書館・室があります。これら30の図書館・室が一体となってサービスを提供しているのが「東京大学附属図書館」です。



ご活用ください!

## ★ホームライブラリ

ご自身の所属する学部・研究科にある図書館・室があなたのホームライブラリです。

(前期課程に入学した皆さんは駒場図書館がホームライブラリになります。)

他の図書館から取り寄せた資料の受け取りなど、各種サービスはホームライブラリが窓口になります。

困った時はまずホームライブラリへ、お気軽にご相談ください。

※所属と実際の研究拠点が異なる場合は、研究拠点の最寄りの図書館にご相談ください。

## ★UTokyo Wi-Fi

東京大学の構成員がキャンパス内で利用できる学内共通無線LANサービスです。

拠点図書館(総合・駒場・柏)のほか、一部の部局図書館・室でも利用できます。

利用にはUTokyo Wi-Fiアカウントの取得が必要です。詳細はWebサイトをご確認ください。



UTokyo Wi-Fi

[https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo\\_wifi/](https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_wifi/)

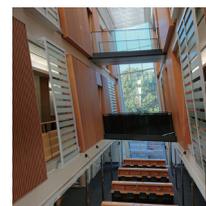
## 拠点図書館紹介

### 駒場地区キャンパス 駒場図書館

※大学院総合文化研究科図書館を兼ねる

駒場図書館は、多くの前期課程1年生にとって最も身近な図書館です。地上4階、地下2階の建物に収蔵された幅広い分野の図書(約71万冊)・雑誌(約6,100タイトル)のほか、閲覧席1,076席やグループ学習室等の学習環境が整備されています。ECCS端末も利用できます。

勉強から離れて気軽に読める雑誌を集めた1階Sky Loungeや、吹き抜けで開放感のある2階閲覧席、隣接する矢内原公園を眺められる地下1階閲覧席など、目的に合わせてお気に入りの場所を見つけてみてください。



図書館をもっと便利に使うために、

駒場図書館Webサイトに掲載の「図書館活用ガイド」をぜひご覧ください!

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/komaba/user-guide/campus/guide>

図書館活用ガイド



駒場図書館キャラクターこまとちゃん



## 本郷地区キャンパス

# 総合図書館

総合図書館は、蔵書約150万冊、閲覧席1,111席の学内最大規模の図書館です。

本館には静かに学習できる閲覧席のほか、オンライン授業・語学学習などに便利な発声できる防音ブースや、グループ学習に利用できるプロジェクトボックスがあります※。別館ライブラリープラザも会話可能なスペースで、セミナーなども開催されます。学習や研究のスタイル、キャンパスでの過ごし方に合わせてご利用ください。

※防音ブース・プロジェクトボックスを利用するためには、事前にMyOPACから予約してください。

現在の総合図書館は、関東大震災での旧図書館焼失の後、1928年に再建された建物です。内田祥三(のちの第14代総長)による設計で、建築史に残る傑作と言われています。2015年から2020年にかけて改修工事を行い、現代に適した学習環境を整備するとともに、創建当時の意匠を復元しました。



最新の開館情報や各種お知らせは総合図書館Webサイトをご確認ください。

■総合図書館Webサイト

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general>



## 柏地区キャンパス

# 柏図書館

柏キャンパスの正門から、左手に見えるガラス張りの建物が柏図書館です。1階にはコンファレンスルームやホールなどの会議施設やゆったりとくつろげる休憩スペースがあり、2階には学習用図書や研究資料をそろえた図書館施設があります。また、自然科学系雑誌のバックナンバー40万冊以上が収納された自動書庫を備えています。

館内には、1人でオンライン会議や語学学習などに利用できるスピーキングブースや、1名から最大24名まで利用できるセミナー室、グループ学習のためのナレッジワークスタジオがあります。

また、サイエンスカフェやミニコンサートなどのイベントも随時行っています。自習の場に、授業や研究の息抜きの場に、ぜひご利用ください。



最新の開館情報や各種お知らせは柏図書館Webサイトをご確認ください。

■柏図書館Webサイト

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa>



## 図書館・室を利用しよう

### 今日は開いてる？ Webサイトで最新の情報を確認しよう



- 図書館によって、開館している時間帯や休館日が異なります。図書館に行く前に、必ずその図書館のWebサイトをチェックしましょう。
- 各図書館のWebサイトは、附属図書館サイトの「図書館一覧」から探すのが便利です。

■ 東京大学附属図書館 Webサイト  
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>



### 初めて利用する、その前に！

- 学生 UTASでメールアドレスを登録
- 教職員 ホームライブラリで所定の手続き

学生証・職員証が  
図書館利用証に  
なります



忘れずにご持参を！

### 「この本、借りたいな!」というときは

#### ◎ 拠点図書館 (総合図書館、駒場図書館、柏図書館)

基本的に、図書は10冊まで・2週間借りられます。ただし資料の種類やご自身の身分によっては、借りられる期間が違うこともあります。詳しくは各館のWebサイトをご確認ください。

#### ◎ その他の図書館・室

それぞれ条件が違ってきます。借りたい本がある図書館のWebサイトをご確認ください。

※ 図書館には貸出できない資料もあります。例えば、OPACで「禁帯出」とあるものは借りられません。借りられるかどうか分からないときは、図書館職員にお尋ねください。

### 「借りたら返す」までがセットです:返却のルール

- 学内の図書館で借りた資料ならば、どの図書館に返却しても大丈夫です。
- ただし、借りるときに「必ずこの図書館のカウンターに返してください」と言われたときは、その指示に従って返却してください。
- 返却が遅れた場合は、遅れた日数分、新たな貸出ができなくなります。また予約が入っている場合、特に「その本の返却を待っている人がいる」ということです。返却期限を守って利用しましょう。

### よく分からない…そんなときはWebから質問:ASKサービス

ASKサービスは、図書館の利用方法で分からないことはもちろん、電子リソースの利用の仕方、文献の探し方、情報収集の方法などをWebで相談できるサービスです。回答はメールで送られてきます。困ったことがあったらご活用ください。

※ 上記「東京大学附属図書館」Webサイトの上部メニューからもアクセスできます。

■ 東京大学附属図書館ASKサービス  
<https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/ask/>



### 誰でも利用できる図書館への取り組み



UTokyo  
Diversity&Inclusion

#### 本を読むことや、来館利用が難しい方へのサービス

紙の本を読むことが難しい方に向けての資料電子化サービス、国立国会図書館視覚障害者等用データの取り寄せなどを実施しています。また、拡大読書器や簡易筆談器を用意している図書館もあります。

#### 未就学の子どもの同伴して利用したい、という方へ

拠点図書館である総合・駒場・柏図書館を利用できます。詳細はホームライブラリや、実際に利用したい拠点図書館へご相談ください。

## 資料をさがすには — 東京大学OPAC (オーパック) を使おう

東京大学附属図書館で所蔵している資料は、「東京大学OPAC」で検索することができます。読みたい図書や雑誌をOPACで検索し、所蔵している図書館を訪れて資料を利用してみましょう。

東京大学OPAC  
[https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/opac\\_search/](https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/opac_search/)



## 「MyOPAC」でもっと便利に

UTokyo Accountでログインすると色々なサービスを利用できます。



### ①貸出・予約状況照会 — 貸出期間の延長も!

「貸出・予約状況照会」ページで状況の確認や貸出期間の延長ができます。

※次の予約が入っている場合、延滞している場合、所定の延長回数を超える場合は延長できません。

### ②資料の予約・取り寄せ

#### 予約/取寄

他の利用者が借りている図書を予約することができます。また、他の図書館の図書をホームライブラリ、または拠点図書館(総合・駒場・柏)に取り寄せることもできます。予約/取寄は無料です。

#### コピー申込・PDF申込

図書や雑誌の必要な部分のコピー・PDF※を取り寄せることができます。このサービスは有料です。また、申込み初回時は、事前にホームライブラリでの手続きが必要です。

※PDFの取り寄せは学内の一部図書館・室のみ対応。東大のキャンパス内で閲覧・印刷ができます。

※PDFの閲覧期限は通常、図書館・室からのメール通知後、2週間です。閲覧期限に注意してお申し込みください。

所蔵情報を非表示

本郷キャンパス

配架場所	巻次	請求記号	登録番号	状態	文庫区分	刷年	コメント	コピー申込	PDF申込	予約/取寄
総合図・3F簡架		809.7:A53	0012203451					コピー申込	PDF申込	予約/取寄
工1A・社基図		PF:s04	1011217922				学生用図書	コピー申込	PDF申込	予約/取寄
工2・図書室		809.7:5I8	1011461371			2007.5		コピー申込	PDF申込	予約/取寄
工2・電子情報		081:195:T	2310027905	研究室				コピー申込	PDF申込	予約/取寄
学編・図		T-a:159	6611651784					コピー申込	PDF申込	予約/取寄

★館内資料は図書館内のコピー機を使って、著作権法の範囲内で自分でコピーすることもできます。詳しくはP.7~P.8「複写のすすめ」をご覧ください。



### ③図書購入リクエスト

学習や研究に使いたい本が図書館にない時は、ホームライブラリ、または拠点図書館にリクエストできます。「図書購入リクエスト」からお申し込みください。

※図書館ごとに資料購入の方針があり、方針や予算等の都合で購入できない場合があります。

MyOPACを使い終わったら必ずログアウト!



迷ったら

MyOPAC文献・図書取り寄せサービス利用ガイドを確認!

[https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/webreq/ill/ill\\_help.html](https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/webreq/ill/ill_help.html)



# 電子リソース・文献管理ツールを活用しよう

図書館で提供しているのは紙の資料だけではありません。  
東京大学に所属されている方は、電子リソース(電子ジャーナル・電子ブック・データベースなど)や文献管理ツールを利用することができます。  
これらは自宅からでも使うことができます。



**電子リソースとは?** インターネット上で読んだり使ったりできる資料のこと。

## ■電子ジャーナル

インターネット上で読むことのできる学術雑誌のこと。「E(イー)ジャーナル」「オンラインジャーナル」などと呼ぶこともあります。紙の雑誌のように印刷・発送の時間がかからず、すぐに読めるのが電子ジャーナルの特徴です。

例えば… 『Nature』『Cell』などの雑誌の電子版

## ■電子ブック

インターネット上で読むことのできる図書のこと。「E(イー)ブック」「電子書籍」などと呼ぶこともあります。大学図書館で利用できる電子ブックの多くが学術書です。音声や動画が掲載されていたり、本文を検索できたり、といった特徴があります。

例えば… 『理系総合のための生命科学』『東京大学のアクティブラーニング』などの図書の電子版



電子ジャーナル・電子ブックは、東京大学OPACまたはE-journal & E-book Portalから検索できます。

## ■データベース

大量のデータをまとめて整理し、必要な情報を検索できるようにしたもの。データベースはそれぞれ検索できる対象が異なっているため、目的に応じて使い分けるようにしましょう。

例えば… 目的

データベース名

日本語の論文を探したい	➔ CiNii Research
英語の論文を探したい	➔ Web of Science コアコレクション
新聞記事を検索したい	➔ 朝日新聞クロスサーチ / ヨミダス / マイサク / 日経テレコン21
様々な辞書・事典をまとめて検索したい	➔ JapanKnowledge Lib
日本の判例を検索したい	➔ LEX/DBインターネット
国内発行の医学分野の論文を探したい	➔ 医中誌 Web
化学・薬学分野の論文や特許を探したい	➔ CAS SciFinder Discovery Platform
東京大学で使える論文や図書をまとめて検索したい	➔ TREE

※ここにあげたデータベースは一例です。同じ目的でも、異なるデータベースを使って検索することもできます。

また、上にあげた以外の目的に使えるデータベースもたくさんあります。データベースの探し方は6ページを参考にしてください。

### ⚠ 電子リソース利用上の注意

電子リソースによっては、同時に利用できる人数に制限があります。利用が終了したら、必ずログアウトをしてください。  
電子リソースを東京大学以外の人に利用させることや、大量ダウンロードなどは不正利用として禁止されています。不正利用が疑われると、東京大学全体で電子リソースの利用が停止され、多くの人の学習・研究に支障をきたしますので絶対に行わないでください。

#### ■電子リソース利用上の注意

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/caution>  
このページでは、不正利用の具体例や、利用上の注意点を詳しく説明しています。  
電子リソースを利用する前に必ずご一読ください。



適正な利用を  
お願いします!

## ◎電子リソースを使ってみよう!

附属図書館Webサイトの「データベース一覧」のページから、東京大学で利用できるデータベースを探ることができます。5ページで紹介している電子リソースはここから検索して利用できます。データベース名のほかに、データベースの説明文なども対象に検索できるので、調べたい内容や研究テーマを入力すると、思いがけないデータベースが見つかるかもしれません。

CiNii Research

Off-Campus Open

利用してみる

データベース名の下にある「利用する」ボタンから



■データベース一覧

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/database>

## ◎学外から電子リソースを使うには?

ご自宅など、学外から電子リソースを使う際には、「EZproxy (イージープロキシ)」というサービスにログインをしてください。EZproxyにログインするためには、UTokyo Accountが必要です。

電子リソースの中には、利用が学内からのみに限定されるものや、学外からのアクセスが東京大学所属者の一部の方のみに限定して認められているものもあります。

※2026年8月頃より、学外アクセスの方法が変更される予定です。詳細が決まりましたら附属図書館Webサイト等でご案内します。



■EZproxy (イージープロキシ) 経由で利用する

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/offcampus/ezproxy>

## 文献管理ツールも使ってみよう!

学生の皆さんはこれから多くの課題に取り組み、レポートをたくさん書くこととなります。レポートや論文を書く際は、参考にした文献について、文末にリスト化して示す必要があります。

文献管理ツールは、毎回のレポートに添える参考文献リストの作成を省力化してくれる便利なツールです。また、データベースなどの情報源から集めた文献情報を簡単に取り込んだり、フォルダ分けやタグ付けなどをして整理したりすることもできます。

文献管理ツールには無料で利用できるものもありますが、東京大学に所属されている方は、RefWorks、Mendeley、EndNote onlineという3つのツールを、大学向けバージョン(機関契約版)で利用することができます。無料版よりも容量が多いなどの利点があるので、ぜひ活用してみてください。

RefWorks、Mendeley、EndNote onlineは以下のページから利用登録して使いましょう。



■東京大学で利用可能な文献管理ツール

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/ref>

「電子リソースや文献管理ツール、便利そうだけど、使い方がよくわからない……!」  
そんな方は、講習会に参加しましょう! 定期的に講習会を開催しています。

### Literacy

附属図書館Webサイト内にある「Literacy」は、東京大学で利用できる学術情報を、探せて、使えて、学べるサイトです。このページで紹介している電子リソースやWebサイトは全て「Literacy」からアクセスできます。データベースの活用法やレポート・論文の書き方に関する情報も掲載しています。



■Literacy

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy>

### 講習会実施中!

論文の探し方、専門分野ごとのデータベースの利用方法や活用のコツを知ることができる講習会を、主にオンラインで開催しています。お気軽にご参加ください。申込みはイベントページから行えます。今後のスケジュールは講習会ページのカレンダーを参照ください。

# 複写のすすめ

## ～著作権を守って快適な図書館ライフを!～

図書館の利用に欠かせないのが資料の複写。

でもどうして図書館で複写するのに様々な決まりごとがあるんでしょう？

「著作権の範囲内で複写できます」って具体的にどういうこと？ そんな疑問にお答えします！



### 図書館と著作権の関係

図書館で所蔵している図書などの著作物は、著作権法により保護されています。

図書館での複写は、著作権法第31条に基づき、以下の場合に許されています。

- ・調査研究を目的とすること
- ・複写物は1人につき1部であること
- ・複写箇所が著作物の一部分（原則として半分以下）であること

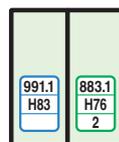


※営利目的での利用や上記の範囲を超えて複写をしたい場合は、著作権者の許諾が必要です。

### 図書館で複写できるもの

図書館にあるコピー機で複写できるのは**図書館で所蔵している資料**だけです。

持ち込んだ資料やノート等は複写できません。



### 「著作権の範囲内」の具体例はこちら

	図書	雑誌（定期刊行物）	
複写OK	著作物の一部分 (半分を超えない範囲) ※論文集は各論文の半分まで	最新号	発行後相当期間(3か月) 経過後または次号刊行後
		↓	↓
		1論文の半分まで	1論文全て

例えば……

2026年4月1日に刊行された雑誌の場合

刊行頻度が年刊（年に1回）

⊕ 刊行されてから3か月後、2026年7月1日以降に1論文全ての複写可

刊行頻度が月刊（月に1回）

⊕ 次号(2026年5月号)が刊行後に1論文全ての複写可

**Check!**



### 著作権保護期間のカウント方法について

■ 文化庁「著作物等の保護期間の延長に関するQ&A」

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/kantaiheiyo\\_chosakuken/1411890.html](https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/kantaiheiyo_chosakuken/1411890.html)



## 複写申込の流れ

01

申込書に記入します

※ ご自身で複写可能な範囲をご確認ください



02

図書館のカウンターに  
申し込みます

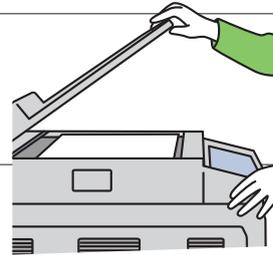


03

コピー機で複写します



現金やコピーカードが  
使えるところが多いですが、  
図書館によって違うので  
確認してください。



コピー機で複写するかわりにデジタルカメラや  
携帯電話で資料を撮影することはできません。

## 著作権について考えよう! 一問一答



論文のコピーが終わった!  
グループワークに必要なだから  
皆の分もコピーしておこう。

図書館での複写は、自分の学習や  
調査研究のためだけに認められて  
います。他人に配布すると  
著作権侵害になります。



ノートをコピーするのに  
別のところに行くのが面倒。  
図書館のコピー機を使っちゃおう。

図書館のコピー機は所蔵資料を  
複写する目的で置いています。  
持ち込みの資料や  
ノートのコピーはできません。



著作権が切れている資料は  
全ページコピーしても  
良いのかな?

著作権が切れている資料の全ページ  
複写は可能ですが、資料状態等の理由で  
難しい場合があります。不安な方は  
図書館職員にご確認ください。



お悩みの方はホームライブラリにご相談ください

# オンライン授業やリモート打ち合わせに使える! 学内にある 会話OK! なスペースのご紹介

近頃ではすっかり当たり前となったオンライン授業やリモート打ち合わせ。とはいえ同じ日に学内での対面の授業や用事があると困ってしまうのが場所探し。このページでは、そんなときに使える学内の発話可能スペースについてご紹介します。



## オンライン授業の受講に利用可能な教室の一覧 / utelecon

その名の通り、オンライン授業の受講に利用可能な教室の一覧です。キャンパスやUTokyo Wi-Fiの有無、利用可能時間などで絞り込みもできます。利用対象者が限られている場所や、発話不可となっている場所もあるので注意!

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/oc/rooms/>

いろいろ  
使える

## 図書館での会話OKなスペースをご紹介します!

uteleconのサイトで紹介されているものも含め、各拠点図書館で発話可能なスペースをご紹介します。利用方法などの詳細はリンクまたはQRコードからご確認ください。

総合図書館 (本郷地区キャンパス)	防音ブース [1名用] <a href="https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/facilities/sound">https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/facilities/sound</a>	要予約		
	プロジェクトボックス [3~15名用] <a href="https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/facilities/project">https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/facilities/project</a>			
	別館ライブラリープラザ <a href="https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/library-plaza">https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/user-guide/library-plaza</a>			
駒場図書館 (駒場地区キャンパス)	グループ学習室 [3~12名用] <a href="https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/komaba/user-guide/facilities/groupstudyroom">https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/komaba/user-guide/facilities/groupstudyroom</a>	要予約		
柏図書館 (柏地区キャンパス)	ナレッジワークスタジオ <a href="https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa/user-guide/floorguide">https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa/user-guide/floorguide</a>			
	スピーキングブース [1名用] セミナー室 [1~24名用] <a href="https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa/user-guide/facility">https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa/user-guide/facility</a>	要予約		

## 飲食可能な休憩スポット

- 総合図書館 5F ラウンジ
- 駒場図書館 1F Sky Lounge ※会話はご遠慮ください
- 柏図書館 1F レストコーナー
- 1F コミュニティサロン

各部署の図書館・室にも、発話可能スペースや飲食可能な休憩スポットがある場合もあります。そういった場所に限らず、普段使う図書館・室を改めて探索してみると、お気に入りのスポットが見つかるかも……?



本誌中のサービス提供状況は2026年3月時点のものです。最新の情報は各図書館のWebサイトをご覧ください。

図書館の窓 Vol.64 No.1 (通号464号) 2026年3月31日発行  
 発行人: 大山努 編集: 附属図書館広報委員会  
 東京大学附属図書館発行  
 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話03(5841)2612 E-mail kikaku@lib.u-tokyo.ac.jp



図書館の窓 バックナンバー

